

— No. 322 —



広報

# 川越

11月10日

■発行所 川越市役所

■電話 川越 (0492) 24-8811㈹

■発行人 川越市長 加藤龍二

■編集 企画部企画課



境町神明町線（西バイパス）の月吉町と今成町にまたがる地  
に、新しい歩道橋ができました。

この歩道橋は、従来のものとは異なり、はじめて市が施行した  
もので幅員は1.5m、総延長35m、工事費は1千89万3千円です。









# 市内で死亡事故続発



## 被害者は 子どもと老人

川越警察署管内  
では、ことしの一  
月から十月二十七  
日までに三十一人

が、交通事故で尊  
い命をなくしてい  
ます。

とくに市内では  
十月の一ヶ月の間  
に九人も死者が出  
てしまいました。

死者の内訳をみ  
ますと、警察署管  
内での三十一人のうち老人が十二  
人、子どもが四人。また市内での

死者九人のうち老人(六十歳以上)  
が四人、子ども(十二歳以下)二人  
といずれも老人と子どもの被害事  
故が多くなっています。

この死亡事故の原因を調べてみ  
ますと、車の運転者の不注意はも  
ちろんですが、被害者が大きな原  
因をつくっている場合も多くある  
ようです。次に事故のおもな例を  
あげてみましょう。

▽おじいさんの被害事故は、その  
ほとんどが自転車で通行中、前後  
左右の安全を確かめないで急に  
右左折したための事故です。

▽おばあさんの被害事故は、道路  
でもかこれでもかとP.R.をしてい  
ますが、いつもこうに事故は減少し  
ません。

「知っていることと、守ること  
とくに凶悪犯罪ともいってべき醉  
い運転。運転者も酔っぱら  
い運転はいけないことと十分承知  
しているのでしょうが、依然とし  
てあとを断たない現状です。関係  
機関でもいろいろな方法で、これ  
をたどっています。

## 知つていることと 守ることは違います

近来にない自動車ラッシュに伴  
ない、交通事故は年々増加の一途  
をたどっています。

大手町一五一一

田 中 諭 吉

（昭和三十二年六月十日第三種郵便物記入）



④

川越警察署管内  
では、ことしの一  
月から十月二十七  
日までに三十一人  
が、交通事故で尊  
い命をなくしてい  
ます。

とくに市内では  
十月の一ヶ月の間  
に九人も死者が出  
てしまいました。

死者の内訳をみ  
ますと、警察署管  
内での三十一人のうち老人が十二  
人、子どもが四人。また市内での



## 200本を取り付け

### 標識がおめみえ スケールゾーン

市では、子どもたちを交通事故  
から守るため、このほどスケールゾ  
ーン標識を三百本設置しました。  
スケールゾーンは、学校の近く  
で起きる子どもの交通事故を防ぐ  
ため、小学校などを中心に約五百  
ヶ所の範囲をこの区域に指定し  
て、交通規制の強化をはじめ、地  
域活動を展開し交通安全を推進し  
ようとするものです。

ドライバーのみなさん、この標  
識をみかけたら、とくに子どもの  
安全にとめてください。

## 日暮れどきに多い交通事故

### 防止はお互いの注意で

このころの季節は日が短かく、  
交通ラッシュの時間帯と日暮れの  
時間が、ちょうど午後五時から六  
時ごろにかけて同じになります。

この時間帯は、運転者にも歩行  
者にもいろいろ悪い条件が重なり  
合って、交通事故の発生件数も多  
く「交通上の魔の時間」ともいわ  
れています。

日暮れどきの事故をなくすため  
用してください。

信号機のある交差点を黄色の信  
号で横断する人を見かけますが、  
これは非常に危険です。というの  
はスピードを出した車が、信号が  
青になる直前通過することが多い  
からです。

車を運転される方へ  
▽速度を控えめにし、前後左右に  
十分注意する。

▽対向車のライトで、道路を横断  
中の歩行者が見にくくなるため  
十分注意する。

▽ライターは早目につける。  
▽歩行者と自転車の方へ

▽歩行者は遠まわりでも明るい道  
を通る、懷中電灯をつけて歩く  
ことをと守ることとは違います。」

▽自転車は必ず夜光テープをはる

## 11月のノーカーデーは19日です

この日は、なるべく車を  
乗り出さないように  
ご協力ください。

—毎月第3日曜日はノーカーデーです—

## 交通災害共済に加入しましょう

○会費……一般 160円(半年分)

中学生以下 100円( )

○申し込み……市役所市民課、交通対策課

各出張所の窓口へ